3日目 体験してみよう

作る楽しさ、食べる感動

いろいろなモノづくりを体験し、モノづくりの大変さからモノを大切にする気持ちと友だちと協力する気持ちを養ってもらいたい。

旧西友枝小学校の見学

8月18日(水)の探険隊の会場は旧西友枝小学校。今年の3月に閉校し、現在では跡地の利用方法が検討されています。この校舎の活用方法を子どもたちにも考えてもらおうと、学校の探険を行いました。説明は昨年度まで、旧西友枝小学校に通っていた原岡和輝君。学校の全てを知り尽くしていて、隅から隅まで案内してくれました。

バケツプリンづくり

「わ〜つ」という大歓声が上がった、バケツプリン！自分たちで作った大迫力のデカプリンをみんなでつついて食べる表情は笑顔、笑顔、笑顔！

一度は、飽きるほどプリンを食べてみたいという思いを実現するために、バケツでプリンづくりに挑戦しました。バケツに入れた材料を混ぜ冷やして待つこと5時間。固まったかどうか不安一杯なのは子どもたちよりスタッフ。恐る恐るバケツをひっくり返し、プリンが現れた瞬間は大歓声。子どもたちの表情はとても活き活きしていました。

各班とも思ったより上手にできていて、スタッフもほっとするバケツプリンでした。

手作りの竹箸と器でソーメン流し

地域づくり活動団体「よらんかい」の皆さんの指導で竹の箸と器を作りました。初めてナイフやノコギリを使う子どもたちが多く、怪我をしないように使い方を教えてもらいながら挑戦するものの、なかなか上手に使えない子どもたちが多く、作業は難航しました。しかし、モノづくりをする機会が少ない子どもたちは、一生懸命に取り組みモノづくりの大変さを感じていました。また、竹を切る作業では、竹が動かないように友だちと協力しながら作業を行い、一人ではできないモノづくりから、助け合いの気持ちを養うことができたようでした。

作業後は、完成した箸と器を使っての昼食タイム。山下さんたちの苦心の作、コの字型ソーメン流しの竹筒の周りに子どもたちが集まり、流れてくるソーメンを器一杯に入れて食べていました。この日の子どもたちの笑顔は最高潮で、楽しい夏休みの思い出になったようです。

4日目 考えてみよう

上毛町の今と未来！

子ども探検隊Ⅱ発表会

8月29日(日)は3日間の探検隊を通して学んだこと、感じたことの発表会を保護者の方を招いて行いました。

午前中は、発表のための資料づくり。子どもたち全員の自由な意見をとりまとめるため、班ごとにワークショップ形式で行いました。一人ひとりが、それぞれの課題について、自分の感じたことなどを発表し、みんなで話し合い協力して資料を完成させることができました。

慣れない作業の後はお腹が空きます。昼食は、食進会の皆さんに郷土料理のだんご汁とおにぎりを作っていただきました。子どもたちは、いっぱい食べて発表のための活力を養うことができました。

いよいよ発表の時間です。みんなとても緊張していましたが、これも経験の一つ。みんなで役割分担を考え、自分の発表の番になると一所懸命説明していました。

子どもたちの発表の中には、「高齢者の方と話す機会を作ることで元気を与えることができる」など子どもにもできる地域福祉についての提案や「手伝ってくれたよらんかいみたいな方々がもっと増えてほしい」など地域を支えている人たちの有難さを感じている意見もありました。

3日間の探険で感じたことを友だちと一緒に意見を出し合い、発表することで、上毛町の未来を真剣に考えてもらたい。

上毛町について、たくさんの事を見て、体験して、考えた3日間！初日は遠慮しがちだった探検隊のメンバーもすっかり仲良くなれました。まとめでは自分の感じた事、考えた事が次々飛び出します。子どもたちがまとめた意見の一部を役場、たいへいの里、西吉富コミュニティセンター、げんきの杜に掲示します。